

参考資料2 英国の温暖化対策と温室効果ガス排出状況

表 英国における気候変動プログラム案

2000年3月策定

部門	削減目標値 (100万t-C)	対策	推進メカニズム	規制	協定	排出量取引	税制等	自主的取組	補助金等	技術開発	基盤整備	啓発等
発電	予測中	(2.5)	再生可能エネルギーの促進	グリーン証書（取引可能）の購入義務付け	○	△						
				炭素税（CCL）の免除			○					
				沖合風力発電への補助					○			
				都市計画における再生可能エネルギーの評価								○
				グリーン電力購入の推進								○
				研究開発の推進					○			
		-	コージェネレーションの促進	炭素税（CCL）の免除			○					
				熱利用のないガス火力発電所の新設の不許可	△							
				適切な機器の品質保証								○
産業	4.3	2.5	省エネルギーの促進（具体的な対策は各主体に任せる）	炭素税（CCL）減免時の省エネルギー協定の締結（排出量取引の活用）		○	○	△				
			省エネルギーの推進（BAT技術の導入）	IPPC規制		○						
		0.5	省エネルギーの促進（具体的な対策は各主体に任せる）	炭素税（CCL）			○					
			省エネルギー投資促進	100%初年度償却による減税（財源は炭素税収入）			○					
			省エネルギーの促進	炭素基金（財源は炭素税収入）の活用による省エネ教育支援			△					○
		1.25	省エネルギーの推進（具体的な対策は各主体に任せる）	排出量取引（自主的参加）			○					

表 英国における気候変動プログラム案

2000年3月策定

部門	削減目標値 (100万t-C)		対策	推進メカニズム	規制	協定	排出量取引	税制等	自主的取組	補助金等	技術開発	基盤整備	啓発等
民生	4.9	0.25	業務用建築物の省エネルギー	規制（イングランド、ウェールズ）	○								
		3.25	各種省エネルギー	（電力・ガス会社に対する） 需要家への省エネ啓発の義務化	○								○
		0.9	地域暖房システムの効率化	奨励									○
		0.2	住宅における省エネルギー	補助金、啓発プログラムの実施						○			○
		0.3	省エネルギー機器の普及促進	環境ラベル									○
	-	予測中	省エネルギーの推進 （具体的な対策は各主体に任せる）	炭素税（CCL）（業務部門）				○					
運輸	7.3	4	燃費の向上	自動車工業会との協定		○							
			低燃費車普及促進	自動車税制のグリーン化				○					
		-	低燃費車普及促進	環境ラベル									○
		-	トラック等における省エネルギー	省エネルギー・ベスト・プラクティクス・プログラム									○
		-	低公害車普及促進	購入への補助金						○			
		0.6	政策の効果が小の場合	総合交通政策（都市計画、道路有料化、速度規制等）	○							○	○
		2.4	政策の効果が中の場合 （追加削減分）										
		0.3	政策の効果が中の場合 （追加削減分）										
農林業	0.6	0.6	植林	補助金						○			
公共	0.5	0.5	庁舎等における省エネルギー	率先実行									○
合計	17.6												

- 1) 削減目標値に幅がある場合は平均値を示した。また上限、下限的な目標値もある。
- 2) 数字で削減値を示していない対策によって、合計数字を上回る削減が期待されている。
- 3) 二酸化炭素以外のGHGsの排出抑制対策について、BaUに織り込み済みのものがある。
- （出所）Climate Change: Draft UK Programme

表 英国における部門別温室効果ガス排出量の見通し及び削減目標

部門	1990	1997	2010 BaU	2010 目標	削減目標
(エネルギー転換)	67.9	45.6	45.1	-	-
注①	1990年比	-33%	-34%	-	-
	全体比率	32%	25%	-	-
産業・業務	90.5	66.4	65.6	61.1	4.6
	1990年比	-27%	-28%	-33%	-
	全体比率	43%	37%	37%	26%
運輸	39.6	42.3	48.2	40.9	7.3
	1990年比	7%	22%	3%	-
	全体比率	19%	26%	25%	41%
民生	46.6	41.0	41.2	36.6	4.7
	1990年比	-12%	-12%	-22%	-
	全体比率	22%	22%	22%	26%
農林業・土地利用	24.8	22.4	20.4	19.8	0.6
	1990年比	-10%	-18%	-20%	-
	全体比率	12%	11%	12%	3%
公共	10.0	8.6	7.9	7.4	0.5
	1990年比	-14%	-21%	-26%	-
	全体比率	5%	4%	4%	3%
小計*	211.5	180.7	183.3	165.7	17.6
	1990年比	-14.6%	-13.3%	-21.7%	

単位：100万t-C

注① 発電に伴う排出量は電力消費量に応じて需要部門に配分されている
よって、小計に加えるとダブルカウントとなるため、加えていない。

(出所) Climate Change: Draft UK Programme

表 イギリスにおける温室効果ガス排出量の推移

部門	1990	1991	1992	1993	1994	90年比
二酸化炭素	166.6	168.1	163.4	159.5	158.5	-4.9%
化石燃料起源	153.4	155.6	151.3	147.4	145.7	-5.0%
エネルギー転換	63.3	62.5	59.5	54.8	54.0	-14.6%
産業	26.2	26.2	25.5	25.0	25.6	-2.2%
運輸	32.5	32.3	32.8	33.2	33.3	2.3%
工業プロセス起源	2.7	2.3	2.0	2.1	2.3	-15.5%
廃棄物焼却	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0%
メタン	25.2	25.0	2.4	2.3	22.0	-12.7%
亜酸化窒素	9.5	9.0	7.7	6.9	7.9	-16.7%

単位：100万 t-C

(出所) 気候変動枠組条約に基づく第2回英国報告書より加工

図 英国における温室効果ガスの排出量の見通し及び削減目標（単位：100 万 t-C）

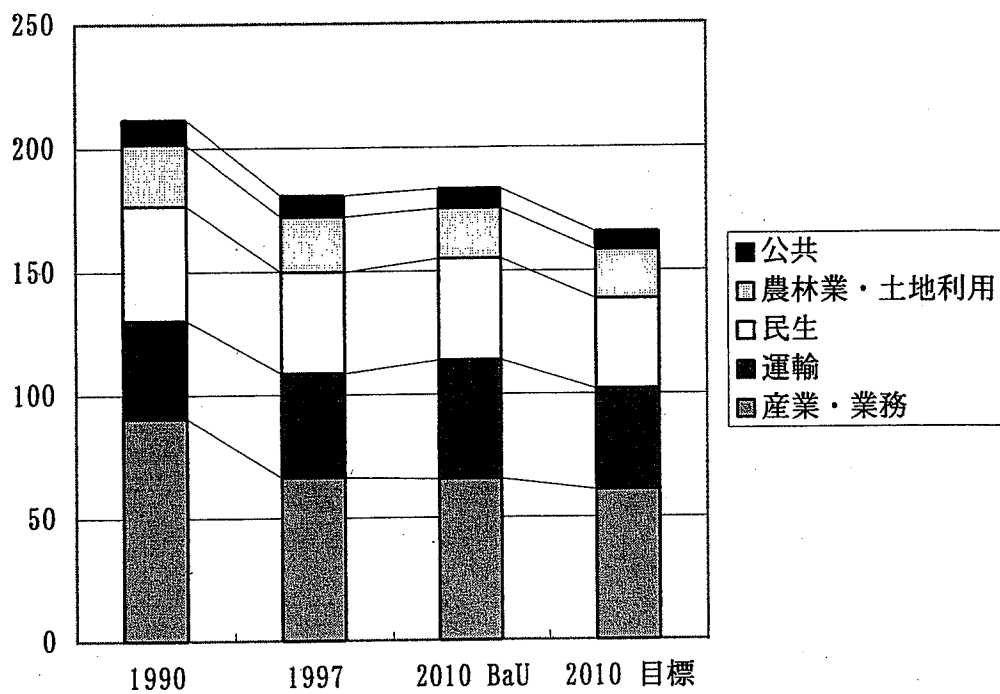
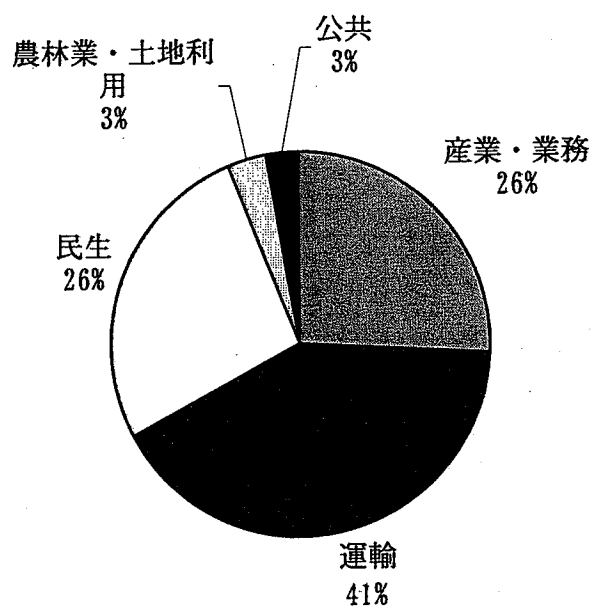


図 英国における 2010 年の温室効果ガス削減量の部門別比率



(出所) Climate Change: Draft UK Programme